

コースコード：RH-RH134

税込価格：330,000円 (税抜価格：300,000円)

日数：5日間

## 前提条件

・ Red Hat システム管理 I (RH124) を修了していることを推奨します。 ・ 短期間で Red Hat 認定システム管理者の取得を目指す熟練した Linux 管理者には、RHCSA 速習コース (RH199) をお勧めします。 ・ 無料のスキルチェック(<https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/>)でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

## 受講対象者

このコースは、現在のスキルの補強または他のチームメンバーの支援に関心がある Windows システム管理者、ネットワーク管理者、その他のシステム管理者、および同様の業務を担当する Linux システム管理者向けです。

- ・ 確立された標準と手順を使用した、Linux システムの設定、インストール、アップグレード、保守
- ・ 運用面でのサポートの実施
- ・ システム管理によるシステムパフォーマンスと可用性の監視
- ・ タスク自動化とシステム管理のためのスクリプトの作成とデプロイ

## コース概要

専任の Linux 管理者となるために必要な主要タスクに重点を置いた学習

Red Hat システム管理 (RH-RH134) は、Red Hat システム管理 I (RH-RH124) を受講した IT プロフェッショナルが、RHCSA トレーニングトラックで 2

番目に受講するものです。このコースでは、ストレージの構成と管理、Red Hat® Enterprise Linux® のインストールとデプロイ、SELinux などのセキュリティ機能の管理、定期的なシステムタスクの制御、ブートプロセスの管理とトラブルシューティング、基本的なシステムチューニング、コマンドライン自動化と生産性における、Linux システム管理のコアスキルについて詳しく説明します。

経験豊富な Linux 管理者で、RHCSA 認定取得に向けた準備を短期間で行いたい方は、まず RHCSA 速習コース (RH199) から始めてください。

このコースは Red Hat Enterprise Linux 9.0 に基づいています。

## 目的

このトレーニングでは、チームメンバーに Linux システム管理の強固な基盤を根付かせ、インフラストラクチャを効率的に管理する能力を強化します。これにより、システムの信頼性が高まり、システムとストレージの利用効率が向上し、システム障害への応答が迅速で正確になります。これは、Linux の予備知識が少ないコンピュータ・プロフェッショナルを有能な Linux 管理者に育成することを目的とした、2 部構成のシリーズの 2 コース目です。

このコースを受講すると、専任の Linux

管理者となるために必要な主要タスクを実行できるようになります。受講者は、LVM

を使用したストレージ管理、SELinux 管理、およびインストール自動化など、管理作業についてのより高度なトピックを学習できます。ファイルシステムとパーティショニング、論理ボリューム、SELinux、ファイアウォール設定、トラブルシューティングなど、企業レベルでの Linux 管理について詳しく学びます。



## アウトライン

### コマンドラインの生産性の向上

bash シェル、シェルスクリプト、および Red Hat Enterprise Linux が提供する各種のユーティリティの高度な機能を使用して、コマンド実行の効率性を向上させます。

### 将来のタスクのスケジュール

将来 1 回のみ、または繰り返して実行するコマンドをスケジュールします。

### システムパフォーマンスのチューニング

チューニング・パラメーターを設定し、プロセスのスケジュールの優先度を調整して、システムパフォーマンスを向上させます。

### ACL によるファイルへのアクセスの制御

ファイルへのアクセス制御リスト (ACL) を解釈して設定し、複雑なユーザーおよびグループアクセス権限を必要とする状況に対処します。

### SELinux セキュリティの管理

SELinux を使用してサーバーのセキュリティを保護して管理します。

### 基本ストレージの管理

コマンドラインからストレージデバイス、パーティション、ファイルシステムを作成して管理し、スペースをスワップします。

### 論理ボリュームの管理

コマンドラインからファイルシステムを含む論理ボリュームを作成して管理し、スペースをスワップします。

### 高度なストレージ機能の実装

Stratis ローカルストレージ管理システムを使用してストレージを管理し、使用中のストレージ空間を VDO ボリュームを使用して最適化します。

### ネットワークアタッチト・ストレージへのアクセス

NFS プロトコルを使用してネットワークアタッチト・ストレージを管理します。

### ブートプロセスの制御

ブートプロセスを管理して、提供されたサービスを制御し、問題をトラブルシューティングして修復します。

### ネットワークセキュリティの管理

システムファイアウォールと SELinux ルールを使用して、サービスへのネットワーク接続を制御します。

### Red Hat Enterprise Linux のインストール

Red Hat Enterprise Linux をサーバーおよび仮想マシンにインストールします。

### コンテナの実行

シンプルで軽量なサービスを単一の Red Hat Enterprise Linux サーバー上のコンテナとして取得、実行、管理します。